

山梨県水産技術センター・研究課題事後評価表
山梨県水産技術センター課題評価委員会(2011.2.3)

試験・研究課題名：センター産アユの継代数の違いによる釣られやすさの比較
大課題名：資源管理技術の開発
小課題名：県産アユ種苗特性評価試験
細目課題名：センター産アユの継代数の違いによる釣られやすさの比較
担当者名：坪井 潤一

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	初期の研究目標は達成している。 複数河川での調査も行って頂きたい。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	4.5 / 5	成果の有用性は高い。 種苗放流の際には、水温や礫など他の 河川環境要因も考慮して頂きたい。
3 研究の発展性	5 / 5	異なった河川や条件での研究を進めて 頂きたい。 また、F1との比較も行って頂きたい。
4 研究課題選定の妥当性	4.8 / 5	アユは日本を代表する魚種であり、種苗 生産は重要な事業である。 選定課題は重要である。
総合評価	4.8 / 5	継代を重ねたアユの定着率が低いこと が示された意義は大きい。F1の飼育に も鋭意とりくんで頂きたい。成長・歩止ま りの評価には種苗特性だけでなく、河川 環境の違いも含めた広い視野で考えて 頂きたい。

「注」 評価点の目安

評価 点数	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

成長・歩留まりの評価については、種苗特性だけでなく、河川環境の違いを含めた広い視野で考えていきたい。また、継代数の違いにより定着率に差が出たことから、今後、放流種苗については検討していく。